

上のこま！ 本校の先輩達

荘原小・誕生物語

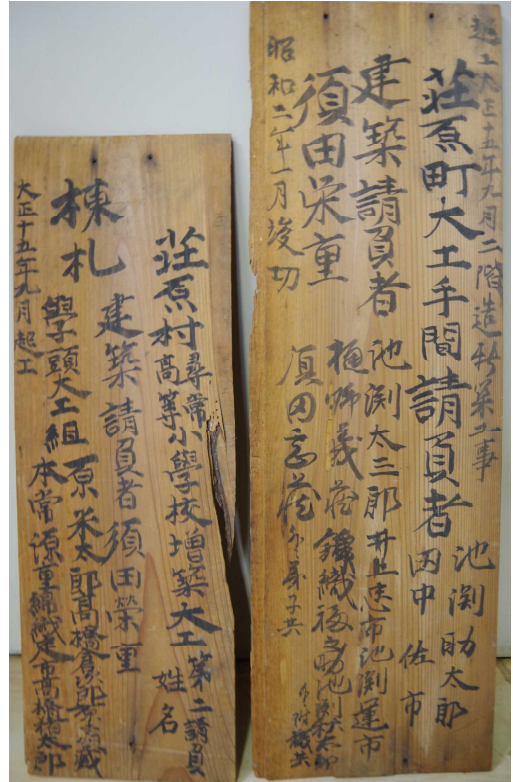
荘原小学校が現在位置に開校したのは、大正9年7月15日。それまでの荘原村には、三絡と学頭にそれぞれ尋常小学校がありました。

両校を統合し新たに尋常小学校を建設する動きは明治末期からありましたが、話がまとまらず、大正6年5月10日の村議会において、三絡校を分教場、学頭校を本校として、本校舎を中溝地区に新築する旨の決議を経て、開校までに約10年の歳月をかけて決着した三絡・学頭両小学校の統合問題でした。

大正8年9月に起工式が行われ、翌大正9年6月に 【▲南校舎増築工事棟札（T15）】

は校舎の一部が完成したため、7月15日から三絡校の5・6年生と、学頭校の4～6年が新校舎に入り、学頭校の1～3年生は学頭校の仮校舎に、三絡校の1～4年生児童は分教場に収容することになりました。

このように、一時期ではありますが、本校・分教場・仮校舎と3つの校舎が同時に存在していた時期があったわけです。本校校舎の増改築の歴史は以下のとおりです。



年月日	主な出来事
大正 8年9月 7日	校舎建築起工式（同年12月竣工）
大正 9年7月15日	荘原村尋常小学校として開校する（本校は児童数520名） 三絡校の5・6年児童、学頭校の4～6年児童が通学する
大正11年5月14日	本校北側校舎建築に着工する（同年12月竣工） 工事完成により、分教場の3・4年生と仮校舎（学頭校）の3年生児童が本校に通学可能となる。
大正11年10月	南側校舎増築に着工する（大正12年3月31日竣工） 工事完成により、学頭校の全児童が本校へ通学可能となる。 分教場は、昭和15年度末で廃止となるまで存続する。
大正12年4月 1日	高等科が設置される。児童数は本校632名、分校58名
大正14年9月24日	屋内運動場建築が着工（同年12月30日に竣工する） 屋内運動場建設に併せ、西側への校庭拡張工事も実施される
大正15年8月18日	本校南校舎棟の続きに、家事室と2階建て1棟と便所・タンク設備を整える工事の地鎮祭が開催される。
昭和11年7月15日	平屋であった東校舎を取り壊し、2階建て棟と便所の建築に着手工事竣工する。南へ4間拡張になり、昇降口を南東と北東の2ヶ所に設置することになった。（S11年度児童数は790名）
昭和12年1月16日	
昭和19年11月3日	北校舎の続きに2教室増築する。（S19年度児童数は1027名）